

三重県中学校テニス連盟 主管大会規定

2015年4月改訂版

1. 棄権の扱いについて

〈個人戦〉

- ① 申込み後ドロー会議までに棄権の申し出があった場合
 - ・申し出た選手・組をドローから外す。
 - ・ケガ等の理由により当連盟本部が認める場合については、エントリー費の返金を行う。ただし、本人又は関係者が自身を証明する物を持って大会当日に本部まで取りに来ること。
 - ・申し込み締め切り後におけるダブルスパートナーの変更は認めない。
- ② ドロー会議後大会前日までに棄権の申し出があった場合
 - ・申し出た選手・組はドローにそのまま残し、エントリー費の返金を行わない。
 - ・シード選手・組に棄権が出た場合は、以下の場合にシード順位の繰り上げを行うものとする。
シングルスでは1～8シード、ダブルスでは1～4シードの選手・組に棄権が出た場合は、ブロック内のドローはそのままとし、決勝トーナメントの位置を上記シードの内に変更(ブロック単位でのシード順位の繰り上げ)を行うものとする。よって、上記シード内の選手・組については、大会前日までに棄権が分かった場合には、各大会要項内にある連絡先まで必ず棄権の報告をすること。
- ③ 大会当日に棄権の申し出があった場合
 - ・ドローはそのままとし、申し出た選手・組へのエントリー費の返金を行わない。

〈団体戦〉

- ① 棄権の申し出があった場合
 - ・上記個人戦の内容をもとにして、当連盟本部にて対応を決定する。
 - ・ケガや病気等で選手数が足りなくなった場合は、参加できるメンバーによりフレンドリーマッチの形式で試合を行えるものとするが、大会結果は棄権の扱いとする。ただし、大会中のケガ等によって選手数が足りなくなった場合は、大会本部が認めたときについてのみ最終シングルの試合を棄権する形で対戦を行えるものとする。

2. 大会における遅刻について

- ① コール時間への遅刻があった場合
 - ・大会開催要項にあるコール時間までに受付が出来なかった場合は棄権(W. O)とする。ただし、公共交通機関が事故等の理由により遅れた場合は、大会本部で協議し対応を決定するものとする。
- ② コール時間までの受付終了後、試合そのものへの遅刻があった場合
 - ・試合が開始されるべき時間(前の試合終了後等)から5分を経過してもコートに現れない場合は、トスの権利と第1ゲームを失うものとする。10分経過までに現れた場合は、遅れた選手・組は試合前のサービス練習は行わずゲームを始めること。
 - ・試合が開始されるべき時間(前の試合終了後等)から両者が5分を経過後から10分経過までに現れた場合は、両者試合前の練習は行わずトスを行い1ゲームオールから試合を始めること。
 - ・試合が開始されるべき時間(前の試合終了後等)から10分を経過しても現れない場合は棄権とする。

*受付のときの言い方の例

「おはようございます。〇ブロック〇番〇〇中学校の〇〇〇〇 です。よろしくお願いします。」

3. オーダーオブプレイについて

- ① 待機2へ入った場合
 - ・選手・組は、両者とも本部でチェックを受け、若番の選手がボールと審判用紙を受け取ること。

*チェックを受けるときの言い方の例

「〇ブロック〇番〇〇中学校の〇〇〇〇 です。〇番コートの控え2に入りました。」

- ② 待機1へ入った場合
 - ・選手・組は、コート側にいて前の試合が終了次第試合を始めること。ただし、特に控えの場所が指定されている大会についてはその指示に従うこと。(四日市ドームでは、下から2段目のベンチ、桑名総合運動公園では、3～4コート又は9～10コートの間のベンチとする)
- ③ 試合へ入った場合
 - ・速やかに試合前の練習を開始して試合を始めること。
 - ・試合終了後は勝者が大会本部までスコアシートを持って結果の報告に来ること。

*結果を報告するときの言い方の例

「〇番コートで試合をしていた 〇ブロック〇番〇〇中学校の〇〇〇〇 ですが 〇ー〇で勝ちました。」

4. シード選考基準について(個人の部)

① シード数について

- ・シングルスについて、1～16シードまでは最低限設定をする。
- ・ダブルスについて、1～8シードまでは最低限設定をする。
- ・上記以下のシードについてはドロー会議で必要と認めただけ設定をする。
- ・シード順に従ってドローに組み込むことを原則とする。

② シード選考について

- ・直近の県中学、県Jr関係の大会の結果を優先してシードをつける。
- ・学年や年齢枠が違う場合等については、直近以前の大会の結果を参考にする。
- ・県以上の大会との関係から出場が制限された選手、他都道府県から転校してきた選手については、できる範囲での配慮をするものとする。
- ・ダブルスのシード選考については、シングルスの結果も参考にするものとする。
- ・シングルスではQFまで、ダブルスではSFまでに同じ所属のシード選手が対戦する場合が出たときには、同じ所属の中での下位のシード選手をその次のシード選手と入れ替え、早期のラウンドで同じ所属の選手が当たらないように配慮する。ただし、同じ中学校在籍であっても違う所属先からエントリーしてきた場合については一切配慮をしない。

5. シード選考基準について(団体の部)

① シード数について

- ・1～5シードまでは最低限設定をする。
- ・上記以下のシードは、本部が必要と認めただけをドロー会議で提案し承認を受けるものとする。
- ・シード順に従ってドローに組み込むことを原則とする。

② シード選考について(三重県中学生選手権)

- ・昨年度の県中学生大会団体戦のベスト4及び第5位の地区に、各地区中体連新人大会の結果を当てはめる。ベスト4に当てはまる学校のシード順位は、下記の県中学生関係大会(個人戦)の結果(最低3人以上)より県連盟本部が提案する。ただし、個人戦の結果が特に優れている学校があれば配慮をする。

- ① 県中学&夏季S16D8以上、2年大会S8D4以上、1年生大会S4D2以上
- ② 県中学&夏季S32D16以上、2年大会S16D8以上、1年生大会S8D4以上
- ③ 県中学&夏季S32D16以上、2年大会S32D16以上、1年生大会S16D8以上

③ シード選考について(三重県中学生新人選手権)

- ・県中学生関係大会(個人戦)の結果(最低2人以上)より、シードの案を県連盟本部より提案する。各地区中体連新人大会(団体戦)の結果も参考にする。

- ① 県中学&夏季S16D8以上、2年大会S8D4以上、1年生大会S4D2以上
- ② 県中学&夏季S32D16以上、2年大会S16D8以上、1年生大会S8D4以上
- ③ 県中学&夏季S32D16以上、2年大会S32D16以上、1年生大会S16D8以上

6. スーパーシードについて

三重県中学生夏季テニス選手権及び中学1年生・2年生選手権のシングルスにおいて、以下の資格を有する者を決勝トーナメント(ベスト16)からスタートとする。

① 三重県中学生夏季テニス選手権

- ・本年度 東海地区中学生テニス選手権大会において
シングルス ベスト8
- ・本年度 全国中学生テニス選手権において
出場者及び補欠登録者(予定者)
- ・三重県中学校テニス連盟本部が推薦する者

② 三重県中学2年生テニス選手権

- ・本年度 東海地区中学生テニス選手権大会において
シングルス ベスト16
- ・本年度 全国中学生テニス選手権において
出場者及び補欠登録者(予定者)
- ・三重県中学校テニス連盟本部が推薦する者

③ 三重県中学1年生テニス選手権

- ・本年度 東海地区中学生テニス選手権大会において
出場者及び補欠登録者
- ・本年度 全国中学生テニス選手権において
出場者及び補欠登録者
- ・三重県中学校テニス連盟本部が推薦する者

7. JTA主催の海外派遣に伴う大会不参加について

財団法人日本テニス協会による海外派遣のため、全国中学生テニス選手権三重県予選大会への参加が出来なくなった選手について、以下のように対応することとする。

〈個人戦〉

- ① 協会推薦または連盟推薦として、全国中学生テニス選手権または東海地区中学生テニス選手権大会に参加できる場合は、それに従う。
- ② ①を満たさない場合については、以下のように対応をする。
 - ・県予選大会開催予定最終日の参加が不可能な場合は、東海大会への三重県出場枠から県連盟推薦として東海大会へ出場できるようにする。
 - ・県予選大会の最終日のみ出場できる場合は、決勝トーナメント(シングルスベスト16)からの参加として出場できるものとする。
 - ・県予選大会が延期され、参加が不可能になった場合は、東海大会への三重県出場枠から三重県中学校テニス連盟推薦として出場できるようにする。その際の県予選大会のシード順については、規定1.の②と同様の対応をするものとする。
 - ・ダブルスについては、両者が海外派遣のため県予選大会に参加ができなくなった場合のみ、東海大会への三重県出場枠から三重県中学校テニス連盟推薦として出場できるようにする。

〈団体戦〉

- ① 大会日程や会場使用において可能な限りの配慮をするものとする。

8. 応援・コーチングについて

- ① 試合中、選手及びチームはコート外の誰からもコーチングを受けることができない。
- ② 団体戦の場合のみ、エンドチェンジの際にベンチコーチからコーチングを受けてもよい。ただし、ベンチコーチはコート外の誰からもコーチングを受けることはできない。
- ③ 応援の中で、技術や戦術に関わるものはコーチングとして判断する。
 - 【応援として認められるもの】
 - 「ナイスショット」「頑張れ」「先リード」「ドンマイ」「ポイント」「もう1本」など
 - 【応援として認められないもの】
 - 「足動かして」「相手をよく見て」「サーブ入れてこう」「前へつめて」など
- ④ コートをまたいで応援をしてはならない(目の前のコートのプレーに影響する)。また、団体戦でのベンチ後方からの応援は、自分のチーム側のベンチ後方から応援をすること。

*違反があったときには、その程度によりペナルティを科す場合があるので注意すること。

9. 大会本部への質問などについて

三重県中学校テニス連盟では、県内テニス関係者と良好な関係を築き、中学生選手の実力並びに人間力向上を図ろうと努力しています。しかし、一部の質問などにおいて対応しきれない場合が出てきています。互いを尊重した上での話し合いはいくらでも行いますが、そうでない場合は対応しきれません。場合によっては、該当選手や所属団体からの出場を認めないなどの対応をせざるを得なくなってしまうかもしれません。三重県の中学生選手のために、どうぞ今後もご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

10. 大会内におけるビデオ及び写真撮影について

不審者対策のため、大会内でのビデオ及び写真の撮影は大会本部が許可をした者のみとする。

- ① ビデオ等の撮影を希望する方は、大会本部にて所属先及び名前を申し出て許可証を受け取る。
- ② 許可証が見える場所に掲げて撮影をする。
- ③ 撮影終了後は許可証を本部に返却する。

以上のことを基本とし、最終判断は県連盟本部が行うものとする。